

(2) 予測

1) 予測の手法

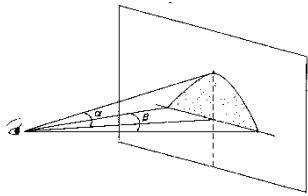
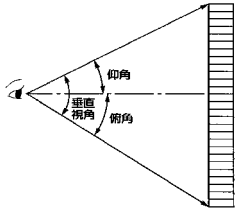
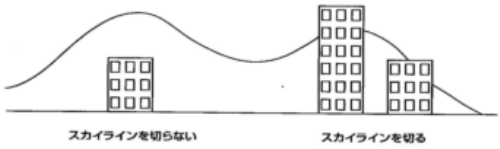
① 予測手法

主要な眺望点及び景観資源の改変については、事業実施区域との重ね合わせ、図上解析することにより、改変の位置、程度を把握しました。

主要な眺望景観の変化については、フォトモンタージュ法等の視覚的な表現方法により眺望景観の変化の程度を把握しました。

また、表 11-13-8 に示す視覚に関する物理的指標について整理するとともに、必要に応じて主要な眺望景観の変化の程度を把握するための参考としました。

表 11-13-8 視覚に関する物理的指標

指標	内容	
視距離	視距離によって施設などの認知を規定する要因（テクスチャ、色彩、形態等）が変化しますので、保全水準の達成の程度の判定及び保全対策の立案への指標としても役立ちます。	<p>景観の視距離を近景・中景・遠景と区分すると、この 3 区分は対象によってその絶対的距離は異なってきますが、概ね以下のような感覚でとらえられます。</p> <p>近景…対象の要素やディテールが目につきやすい領域（500m 程度以内）</p> <p>中景…対象全体の形態がとらえやすく、対象が景観の主体となる領域（500m～3km 程度）</p> <p>遠景…対象が景観のごく一部となる領域（3km 程度以遠）</p>
水平見込角	視点からの対象の見えの大きさを表わす指標で、視点から対象を見込む水平見込角を指標値として用います。	<p>水平見込角が、10° を超えると対象構造物は目立つようになります。</p>  <p>α : 垂直視角 β : 水平見込角</p>
仰角	仰角とは、対象物の上端と視点を結ぶ線と水平線のなす角。構造物の見えの面積とほぼ比例関係にある仰角を圧迫感の指標として用います。仰角が大きいと圧迫感を感じます。	<p>仰角は 18° になると圧迫感が感じられ始め、30° では対象物が全視野を占め、圧迫感が残ります。（メルテンスの法則）</p> <p>また、俯角 10° 付近は俯瞰景観における中心領域であるといわれており、対象道路事業実施区域がその周辺に位置する場合は目につきやすくなります。</p>
俯角	対象物の下端と視点を結ぶ線と水平線のなす角。俯瞰景観においては、俯角が目につき易さの重要な指標となります。	
スカイライン切断の有無	スカイラインとは山が空を背景として描く輪郭線のことです。	<p>人工物の出現により、スカイラインの連続性が切断された場合には、景観上の支障が大きくなるとされています。</p>  <p>スカイラインを切らない スカイラインを切る</p>

② 予測地域

予測地域は、調査地域のうち、景観の特性を踏まえて、主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域としました。

③ 予測対象時期等

予測対象時期は、対象道路の完成時において、主要な眺望点の利用状況（利用時期等）、景観資源の自然特性（見どころとなる時期等）を踏まえ、主要な眺望点、景観資源及び主要な眺望景観の影響を明らかにする上で必要な時期としました。

2) 予測の結果

① 主要な眺望点及び景観資源の改変

景観資源のみかん畑を除き、対象道路によって改変を受ける主要な眺望点及び景観資源はありません。

対象道路はみかん畑を地表式及び嵩上式、地下式で通過します。工事の実施、道路の存在により、みかん畑の広がる丘陵地約18.3km²の中の約0.2km²が改変されますが、対象道路は大半をトンネル構造で通過し、同様のみかん畑は周辺に広く分布することから、景観資源の価値を大きく損なうものではなく、影響は極めて小さいと予測されます。

② 主要な眺望景観の変化

対象道路が視認される主要な眺望点について、主要な眺望景観の変化に係る予測結果を表11-13-9、表11-13-11(1)～(11)に示します。また、視覚に関する物理的指標による解析結果を表11-13-10(1)～(11)に示します。

表11-13-9 主要な眺望景観に係る予測結果

No.	名称	眺望対象の 景観資源	影響の有無※
1	高山ふれあいの森展望台 (みかんの丘景観展望所)	みかん畑	—
4	富士見岩	浜名湖	—
		みかん畑	—
5	大知波峠廃寺跡	浜名湖	—
7	神石山	浜名湖	—
8	ラクダ岩	浜名湖	—
11	神座古墳群	浜名湖	—
12	雨生山ふしぎ発見コース眺望点	浜名湖	—
13	雨生山	浜名湖	—
15	千頭峰城跡駐車場	みかん畑	—
19	JA三ヶ日ふれあい広場	みかん畑	—

※影響の有無 ○：影響あり —：影響なし

注1) No. は表11-13-6に対応し、対象道路が視認される主要な眺望点を示します。

(a) 高山ふれあいの森展望台（みかんの丘景観展望所）

本眺望景観は、標高約 260m の展望台から、西方向、約 3km 先の丘陵地斜面に分布するみかん畑をはるかに展望する俯瞰景観となっています。展望台の位置する丘陵地に広がるみかん畑は、手前の木々や尾根に遮られて視認できません。

対象道路等は、土工部や橋梁部の一部、三ヶ日西 IC(仮称)が視認されますが、景観資源への眺望の変化はほとんどありません。

物理的指標による解析結果は表 11-13-10(1)に示す通りです。

物理的指標による解析の結果、対象道路等は遠景に位置しており、水平見込角は約 11.8 度、俯角は約 3.3 度とやや目立ちやすい値になっていますが、丘陵地や市街地に溶け込んでいるため、目立ちにくくなっています。また、対象道路等と景観資源であるみかん畑との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(1) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 3.73km (遠景)
水平見込角	約 11.8 度
俯角	約 3.3 度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11(1) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	1. 高山ふれあいの森展望台 (みかんの丘景観展望所)	景観資源	みかん畑
<p>< 現況 ></p>  <p style="text-align: right;">撮影日：令和 4 年 11 月 16 日</p>			
<p>< 将来 ></p> 			

(b) 富士見岩（視対象：浜名湖）

本眺望景観は、標高約400mの眺望点から浜名湖を展望する俯瞰景観となっています。

対象道路等は、土工部や橋梁部の一部が視認されますが、景観資源への眺望の変化はありません。

物理的指標による解析結果は表11-13-10(2)に示す通りです。


物理的指標による解析の結果、対象道路等は遠景に位置し、水平見込角は約7度、俯角は約6.7度と目立ちにくい値であり、市街地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、対象道路等と景観資源である浜名湖との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(2) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約3.36km（遠景）
水平見込角	約7.0度
俯角	約6.7度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11 (2) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	4. 富士見岩	景観資源	浜名湖
<p>< 現況 ></p>  <p style="text-align: right;">撮影日：令和 2 年 11 月 26 日</p>			
<p>< 将来 ></p>  <p style="text-align: right; color: red;">対象道路が見える範囲</p>			

(c) 富士見岩（視対象：みかん畑）

本眺望景観は、標高約 400m の眺望点から三ヶ日町平山地区や上尾奈地区のみかん畑を展望する俯瞰景観となっています。

対象道路等は、三ヶ日西 IC(仮称)や三ヶ日 JCT の一部が視認されますが、景観資源への眺望の変化はほとんどありません。

物理的指標による解析結果は表 11-13-10(3)に示す通りです。

物理的指標による解析の結果、対象道路等は遠景に位置し、水平見込角は約 12.7 度、俯角は約 5.1 度とやや目立ちやすい値となっていますが、丘陵地や市街地に溶け込んでいるため、目立ちにくくなっています。また、対象道路等と景観資源であるみかん畑との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(3) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 4.074km (遠景)
水平見込角	約 12.7 度
俯角	約 5.1 度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11 (3) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	4. 富士見岩	景観資源	みかん畑
<p data-bbox="220 300 331 331">< 現況 ></p>  <p data-bbox="916 1016 1289 1048">撮影日：令和 2 年 11 月 26 日</p>			
<p data-bbox="220 1106 331 1137">< 将来 ></p>  <p data-bbox="703 1435 995 1467">対象道路が見える範囲</p>			

(d) 大知波峠廃寺跡

本眺望景観は、標高約 300m の眺望点から浜名湖を展望する俯瞰景観となっています。

対象道路等は、土工部や橋梁部の一部が視認されますが、景観資源への眺望の変化はほとんどありません。

物理的指標による解析結果は表 11-13-10(4)に示す通りです。

物理的指標による解析の結果、対象道路等は遠景に位置し、水平見込角は約 18.7 度、俯角は約 4.6 度と目立ちやすい値となっていますが、市街地に溶け込んでいるため、目立ちにくくなっています。また、対象道路等と景観資源である浜名湖との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(4) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 3.69km (遠景)
水平見込角	約 18.7 度
俯角	約 4.6 度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11(4) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	5. 大知波峠廃寺跡	景観資源	浜名湖
<p data-bbox="220 297 331 327">< 現況 ></p>  <p data-bbox="916 1014 1273 1043">撮影日：令和 3 年 2 月 10 日</p>			
<p data-bbox="220 1093 331 1122">< 将来 ></p>  <p data-bbox="743 1379 1031 1408">対象道路が見える範囲</p>			

(e) 神石山

本眺望景観は、標高約 300m の眺望点から浜名湖を展望する俯瞰景観となっています。

対象道路等は、土工部や橋梁部の一部が視認されますが、景観資源への眺望の変化はほとんどありません。

物理的指標による解析結果は表 11-13-10(5)に示す通りです。

物理的指標による解析の結果、対象道路等は中景に位置し、水平見込角は約 19.9 度、俯角は約 6.8 度と目立ちやすい値になっていますが、丘陵地や市街地に溶け込んでいるため、目立ちにくくなっています。

丘陵斜面や樹木に遮られるため可視部は小さく、土工部や橋梁構造は市街地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、対象道路等と景観資源である浜名湖との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(5) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 2.34km (中景)
水平見込角	約 19.9 度
俯角	約 6.8 度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11 (5) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	7. 神石山	景観資源	浜名湖
<p data-bbox="220 300 331 331">< 現況 ></p>  <p data-bbox="916 1016 1278 1048">撮影日：令和 3 年 2 月 10 日</p>			
<p data-bbox="220 1106 331 1137">< 将来 ></p>  <p data-bbox="863 1525 1158 1556">対象道路が見える範囲</p>			

(f) ラクダ岩

本眺望景観は、標高約 200m の眺望点から浜名湖を展望する俯瞰景観となっています。

対象道路等は、土工部や湖西 IC(仮称)の一部が視認されますが、景観資源への眺望の変化はほとんどありません。

物理的指標による解析結果は表 11-13-10(6)に示す通りです。

物理的指標による解析の結果、対象道路は中景に位置し、水平見込角は約 15.3 度、俯角は約 4.9 度と目立ちやすい値となっていますが、丘陵地や市街地に溶け込んでいるため、目立ちにくくなっています。また、対象道路等と景観資源である浜名湖との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(6) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 2.0km (遠景)
水平見込角	約 15.3 度
俯角	約 4.9 度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11 (6) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	8. ラクダ岩	景観資源	浜名湖
<p data-bbox="220 297 331 327">< 現況 ></p>  <p data-bbox="916 1014 1278 1043">撮影日：令和 3 年 2 月 10 日</p>			
<p data-bbox="220 1104 331 1133">< 将来 ></p>  <p data-bbox="1007 1368 1299 1397">対象道路が見える範囲</p>			

(g) 神座古墳群

本眺望景観は、標高約 90m の眺望点から浜名湖をはるかに展望する俯瞰景観となっています。

対象道路等は、土工部や橋梁部、湖西 IC(仮称)の一部が視認されますが、景観資源への眺望の変化はほとんどありません。

物理的指標による解析結果は表 11-13-10(7)に示す通りです。

物理的指標による解析の結果、対象道路は中景に位置し、水平見込角は約 36.2 度、俯角は約 6.4 度と目立ちやすい値となっていますが、丘陵地に溶け込んでいるため、目立ちにくくなっています。また、対象道路等と景観資源である浜名湖との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(7) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 0.54km (中景)
水平見込角	約 36.2 度
俯角	約 6.4 度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11 (7) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	11. 神座古墳群	景観資源	浜名湖
<p data-bbox="220 297 331 327">< 現況 ></p>  <p data-bbox="916 1014 1262 1043">撮影日：令和 3 年 2 月 4 日</p>			
<p data-bbox="220 1104 331 1133">< 将来 ></p>  <p data-bbox="932 1529 1225 1559">対象道路が見える範囲</p>			

(h) 雨生山ふしぎ発見コース眺望点

本眺望景観は、標高約 300m の眺望点から浜名湖を展望する俯瞰景観となっています。

対象道路等は、土工部や橋梁部の一部が視認されますが、景観資源への眺望の変化はほとんどありません。

物理的指標による解析結果は表 11-13-10(8)に示す通りです。

物理的指標による解析の結果、対象道路等は中景に位置し、水平見込角は約 1.0 度、俯角は約 5.17 度と目立ちにくい値であり、市街地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、対象道路等と景観資源である浜名湖との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(8) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 2.86km (中景)
水平見込角	約 1.0 度
俯角	約 5.17 度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11 (8) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	12. 雨生山ふしぎ発見コース眺望点	景観資源	浜名湖
<p>< 現況 ></p>  <p style="text-align: right;">撮影日：令和 3 年 2 月 10 日</p>			
<p>< 将来 ></p>  <p style="text-align: center; color: red;">対象道路が見える範囲</p>			

(i) 雨生山

本眺望景観は、標高約 306m の眺望点から浜名湖を展望する俯瞰景観となっています。

対象道路等は、橋梁部や三ヶ日 JCT の一部が視認されますが、景観資源への眺望の変化はほとんどありません。

物理的指標による解析結果は表 11-13-10(9)に示す通りです。

物理的指標による解析の結果、対象道路は中景に位置し、水平見込角は約 25.6 度、俯角は約 6.6 度と目立ちやすい値となっていますが、市街地に溶け込んでいるため、目立ちにくくなっています。また、対象道路等と景観資源である浜名湖との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(9) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 2.42km (中景)
水平見込角	約 25.6 度
俯角	約 6.6 度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11 (9) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	13. 雨生山	景観資源	浜名湖
<p data-bbox="220 300 331 331">< 現況 ></p>  <p data-bbox="916 1016 1273 1048">撮影日：令和 3 年 2 月 10 日</p>			
<p data-bbox="220 1106 331 1137">< 将来 ></p>  <p data-bbox="778 1473 1072 1505">対象道路が見える範囲</p>			

(j) 千頭峰城跡駐車場

本眺望景観は、標高約 70m の眺望点からみかん畑を展望する俯瞰景観となっています。

対象道路等は、橋梁部や三ヶ日 JCT の一部が視認されますが、景観資源への眺望の変化はほとんどありません。

物理的指標による解析結果は表 11-13-10(10)に示す通りです。

物理的指標による解析の結果、対象道路は中景に位置し、水平見込角は約 30.8 度、俯角は約 0.9 度と目立ちやすい値となっていますが、丘陵地や市街地に溶け込んでいるため、目立ちにくくなっています。また、対象道路等と景観資源であるみかん畑との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(10) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 2.14km (中景)
水平見込角	約 30.8 度
俯角	約 0.9 度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11 (10) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	15. 千頭峰城跡駐車場	景観資源	みかん畑
<p data-bbox="220 300 331 331">< 現況 ></p>  <p data-bbox="916 1016 1289 1048">撮影日：令和 4 年 11 月 16 日</p>			
<p data-bbox="220 1106 331 1137">< 将来 ></p>  <p data-bbox="660 1420 948 1451">対象道路が見える範囲</p>			

(k) JA 三ヶ日ふれあい広場

本眺望景観は、標高約 50m の眺望点からみかん畑を展望する俯瞰景観となっています。

対象道路等は、土工部の一部が視認され、景観資源であるみかん畑と一部重なります。

物理的指標による解析結果は表 11-13-10(11)に示す通りです。

物理的指標による解析の結果、対象道路は近景に位置し、水平見込角は約 40.5 度、俯角は約 1.7 度と目立ちやすい値となっていますが、丘陵地や耕作地に溶け込んでいるため、目立ちにくくなっています。また、スカイラインの切断も生じません。

これらのことから、本眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

表 11-13-10(11) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 0.24km (近景)
水平見込角	約 40.5 度
俯角	約 1.7 度
スカイライン切断の有無	無し
総括	眺望景観の変化は極めて小さい

表 11-13-11 (11) 眺望景観の変化の予測結果

地点名	19. JA 三ヶ日ふれあい広場	景観資源	みかん畑
<p data-bbox="220 297 331 327">< 現況 ></p>  <p data-bbox="916 1014 1289 1048">撮影日：令和 4 年 11 月 16 日</p>			
<p data-bbox="220 1104 331 1133">< 将来 ></p>  <p data-bbox="715 1346 1007 1379">対象道路が見える範囲</p>			

(3) 環境保全措置の検討

1) 環境保全措置の検討の状況

予測の結果、主要な眺望点において改変は生じません。また、景観資源及び主要な眺望景観への影響は極めて小さいと予測されます。

これらのことから、環境保全措置の検討は行わないこととしました。

(4) 評価

1) 評価の手法

① 回避又は低減に係る評価

工事の実施及び土地又は工作物の存在及び供用に係る景観に関する影響が、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避され、又は低減されており、必要に応じその他の方法により環境の保全についての配慮が適正になされているかどうかについて、見解を明らかにすることにより行いました。

2) 評価の結果

① 回避又は低減に係る評価

対象道路は、主要な眺望点及び景観資源をできる限り回避するとともに、主要な眺望景観の変化を抑えた計画としています。

予測の結果、主要な眺望点の改変はなく、景観資源及び主要な眺望景観への影響は極めて小さいと予測されました。

また、事業実施段階において、「構造物及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」及び「地形改変部（法面含む）の緑化」を行い、環境負荷を低減することとしています。なお、構造物・道路付属物の検討にあたっては、「浜松市景観計画」、「ふじのくに色彩・デザイン指針（社会資本整備）第 4 版 -静岡県における景観形成の指針」等に沿って検討し、周辺景観との調和に配慮します。

これらのことから、工事の実施及び道路の存在に係る景観に関する影響は、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されていると評価します。